

南越稲作情報 No2

— 除草、水管理、補植苗の除去について —

南越農林総合事務所 農業経営支援部

1 雑草対策

- ・ 除草剤は登録内容に従って、適期に使用しましょう。
 - ※ 移植で使用可能な除草剤が、直播に使用できるとは限りません！
- ・ 除草剤散布後7日間は、落水しないこと。
- ※ 近年、除草剤抵抗性を持った雑草（下の写真はその一部）が増えています。特定の雑草が残る場合は、JA、農林総合事務所に相談下さい。



抵抗性アゼナ



抵抗性ホタルイ



抵抗性コナギ

- ※ 雑草が残った場合など
 - 大きな雑草に効果のある除草剤を再度散布しましょう
 - ヒエが残草した場合 → クリンチャー粒、液 など
 - 広葉雑草が目立つ場合 → バサグラン粒・液、MCP粒 など

2 水管理

- 除草後は、3cm程度の湛水を継続し、莖数確保に努めましょう。
 - ※ ワキが見られたり、藻が発生した場合は、適宜、落水しましょう。
- 莖数が確保されたら、溝切り・中干しを実施しましょう。
 - ・ 坪70株植えなら 1株16本、坪60株植えなら 1株18本が目安
 - ・ 直播なら、1mあたり100本が目安
 - ※ 5月上旬移植なら、6月上旬頃が溝切・中干しになります。

3 いもち病対策

補植苗はいもち病の発生源ですので、5/20頃までに取り除きましょう。